

IPW緩和ケアコース 多職種協働 事例検討研修

日時 2025/ **11/8** 土

申し込み締切り：11月1日(土)

第4回 **AYAの意思決定(倫理問題)** 13:00-16:00 (全6回)

事例 Aさん(男性)は21歳、5年前に肉腫で手術を受けた。2年前に慢性骨髄性白血病を発症し、内服抗がん剤で治療効果を維持してきている。Aさんは知的障害があり、母親がつきっきりで闘病を支えてきた。その母親は2年前COVID-19で死亡した。Aさんは内服管ができず、飲み忘れが多いが、父親は「内服は自己責任だ」とサポートを拒否し、同居の弟(19歳)とは不仲である。自己決定ができない中で内服抗がん剤をどうする？！

講師 聖路加国際病院 小児科部長 小澤美和氏

会場 オンライン
(ZOOM)

対象 医師・看護師・
MSW・薬剤師など

5/10 土 ケミカルコーピング

事例 認知症高齢者のAさんに積極的
化学療法がなされている。家族
の要望ではあるけれど…

講師 京都大学 臨床倫理准教授

7/12 土 麻薬：
ケミカルコーピング

事例 痛みの訴えと易度性が高くなって
いるAさん。これは医療麻薬の依
存症？医療者は巻き込まれる

講師 金沢大学病院 専門薬剤師

9/13 土 「怒り」の
矛先になる時

事例 BSCを告げる時、激しい「怒り」
で、治療継続を求めるAさんと
家族にどう対応する？

講師 がん研有明病院 精神腫瘍科部長

1/10 土 多問題家族：
ヤングケアラー

事例 家庭内別居のAさんは、長男(中
学生)を頼りに療養し、病院への
付き添いも長男である

講師 がん研有明病 がん看護専門看護師

3/14 土 終末期鎮静療法
とSDM

事例 耐え難い苦痛でAさんは、「鎮静
療法」を選んだ。家族は夜間・休
日問わず、説明を求める

講師 国立がんセンター 緩和ケア医長

申込

長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードから
お申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、**第何回を受講され**
るかを記入してください。 例：全回希望、第4、5回希望 など

